

防除情報(病害虫情報 号外 第1号)

令和2年4月10日
神奈川県農業技術センター

ナシ赤星病菌のビヤクシン樹上における冬孢子堆の膨潤状況

- ナシ赤星病の防除適期は、ビヤクシン樹上の冬孢子堆の成熟が進み、膨潤度が90～100になってから10日以内が目安です。
- 今年の膨潤は、平年よりも早く進んでいます。(表1)

表1 膨潤度の推移

本年(令和2年)		前々年(平成30年)		平年	
調査日	膨潤度	調査日	膨潤度	到達日	膨潤度
3月13日	31.0	3月17日	-	4月3日	50
3月16日	38.5	3月22日	7.4	4月13日	90
3月19日	52.4	3月28日	29.8		
3月24日	63.0	3月31日	27.6		
3月30日	60.6	4月3日	46.4		
4月3日	83.3	4月12日	65.1		
4月10日	100	4月18日	93.2		

* 令和元年は冬孢子堆が得られず調査不可

* ナシ赤星病の病原菌は、ビヤクシン類を中間宿主として寄生し、ビヤクシン樹上に冬孢子堆を作ります。冬孢子堆は3月頃から気温の上昇に伴って少しずつ成熟し、膨潤して小生子を飛散し、ナシに感染します。よって、冬孢子堆の膨潤度を調べることで、赤星病の防除適期を知ることができます。

* 膨潤度は次により算出しています。

$$\text{膨潤度} = \{(3A+2B+C)/(3 \times \text{調査総数})\} \times 100$$

冬孢子堆膨潤程度 A: 全体が寒天状またはそれに近い状態に膨潤している
 B: かなりふくらむが小生子を形成できる部分が少ない
 C: 原型よりわずかにふくらむ
 D: 原型の大きさのまま

病害虫防除部
インターネット

TEL 0463 - 58 - 0333

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>

○ 農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。